

## 第 49 回近畿医学検査学会第 1 回実行委員会

平成 20 年 9 月 2 日  
18 : 30 ~ 20 : 30  
京都保健衛生専門学校

### 1 . 学会開催要項

- 開催日時 平成 21 年 11 月 28 日 ( 土 ) ・ 29 日 ( 日 )
- 開催場所 京都市勧業館「みやこめっせ」( 京都市左京区岡崎成勝寺町 9 番地 1 )
- 学会長 今井秀一 ( 綾部市立病院 )

### 2 . メインテーマについて

「見方が変わると、仕事が変わる ~ 臨床目線で検査をみる ~ 」に決定した

### 3 . 特別講演・教育講演

- ・京大総長「地震学」
- ・万波医師「修飾腎移植の真実」はどうか
- ・理事会で出ていたのは、顧問の早川先生にお話を他に良い企画があれば是非知らせてほしい

### 4 . 特別企画 ( シンポジウム、ワークショップ、スライドカンファレンス ) ( 別紙参照 )

情報 : 特になし

血清 : 単独より合同シンポの方がよい

病理 : 毒劇物の扱い ( ホルムアルデヒド )

臨床検査科が標榜できるようになり、どのような活動ができるのか、

またしているのか。たとえば手術場で活躍している検査技師など

細胞 : 病理と同様

生理 : 深部静脈血栓症なら合同シンポでできる

データ標準化は遅れている

輸血 : 安全性、標準化。合同シンポなら貧血くらいか

一般 : 髄液検査 ( ドクターが何を求めているか )

無理があるならあえて合同シンポにしなくてもよい場合もある

( 白波瀬 ) : コラボ的なものは難しいので、実行委員会等で企画して各研究班にお願いするかもしれない。

また、各研究班はメインテーマに沿って企画していただければありがたい。

兵庫学会で各県の班長さんと意見交換していただきたい。

5. タイムスケジュール

- ・ 平成 20 年 12 月 6 日 (土)・・・近臨技シンポジウム打ち合わせ会
- ・ 平成 20 年 10 月 18 日 (土)・19 日 (日)・・・兵庫 (第 48 回近畿医学検査学会)
- ・ 平成 20 年 9 月 10 日 (水)・・・近臨技理事会にて進捗報告
- ・ 平成 20 年 8 月 19 日 (火)・・・検査医学会近畿支部、日衛協近畿支部と打ち合わせ (済)

6. 次回の開催予定

第 1 候補日：11/11 (火) 詳細後日

第 2 候補日：11/18 (火)

7. その他

(芦田) 若い人の登壇的な演題発表の場はもうけるのか？

(荻野) 考えてはいる。表彰等も考えてはいるが、とりあえずはシンポが決まってからにしたい

(白波瀬) 近畿学会専用のメーリングをつくる。実行委員以外のかたの登録も可能

(参考)

テーマ

見方が変わると、仕事が変わる ~臨床目線で検査をみる~

テーマのねらい

疾患を中心に据え多角的な視野で臨床検査をみることによって、日常の検査業務にプラスアルファの何かを足すことができないか、仕事を少し変えることができないかを考えてい

例えば、こんなシンポジウム(叩き台)

疾患をキーワードとした、研究班横断的なシンポをいくつか組めないか

- ・ 深部静脈血栓症、肺塞栓：エコー、凝固・線溶検査
- ・ がん関連：腫瘍マーカー 薬剤代謝 EGFR 変異 ゲフィチニブ
- ・ 肝炎：INF と抗ウイルス薬、データ標準化、遺伝子検査
- ・ 関節リウマチ：RA や MMP-3 などの診断のための検査、治療について
- ・ インフルエンザ：迅速検査薬の特徴、パンデミック対策、タミフル
- ・ 慢性腎臓病 (CKD)：日本人の GFR 推算式、冠動脈疾患 (CAD) の発症リスク、シスタチン C、尿検査
- ・ 結核：クオンティフェロン TB-2G、結核診療の最新事情
- ・ 糖尿病：食後高血糖、自己血糖、チーム医療
- ・ 乳がん：エコーのカテゴリー分類、細胞診
- ・ NST 関連項目：Alb, TTR, Zn 日内変動や測定意義、NST への関わり方
- ・ 精度保証：外注検査の報告様式一元化や外注先の変更による測定法や基準値変更についても (臨床目線で)
- ・ こんな検査はらない：必要とされていないのに、臨床的意義があいまいなまま何となく使われている項目 (術前の梅毒反応、凝固時間、ASO、RA、ノンネ・アペルト反応など)
- ・ メタボ検診とデータ標準化